



# 清明

清明学院高等学校 広報誌 2019年度 夏

清明学院高等学校 ホームページアドレス <https://www.seimei.ed.jp>

## 生徒会文化部長 中村有稀

本年度は6月1日(土)に文化祭が行われました。今年のテーマは、「ひとりひとりが輝く星 清明星 in 2019」でした。毎年同様、生徒会役員の生徒たちの議論を通して決定したテーマです。今年度は元号が変わる歴史的な事柄もあり、「令和」という言葉を入れたかったようですが、少し難しかったようです。各クラス・各クラブ・各団体が「輝く清明星」となるように、それぞれ工夫を凝らし、来場された方々と一緒に清らしい文化祭を作り上げようとしてくれました。

例年通り吹奏楽部のファンファーレで幕が開け、それぞれ1年生は合唱、2年生は模擬店や展示、3年生は飲食バザーの準備に取りかかりました。

1年生の合唱は西館の講堂で行われました。各クラスがお互いを刺激しあいながら頑張って事前練習に取り組み、素晴らしい内容のコンクールとなりました。また今年度は、休み時間の合間を使い、音楽の教員に指揮やピアノを教えてもらう姿もたびたび見られました。そういった積極的な姿勢もあり、高評価を得たのではないかと思います。

2年生の模擬店、展示は主に本館4階と東館3階で行われました。毎年恒例の射的や若者に流行りのインスタ映えを意識した企画がたくさん開かれ、その出来栄を競い合う一方で、他のクラスとまったく異なる催しや、コースの特色を生かした催しも数多く企画されていました。

# 令和元年度文化祭

3年生の飲食バザーは本館2階、東館2・4階を中心に行われました。今回は例年にない取り組みを行ったクラスもあり、バラエティに富んだバザーとなりました。また、教室の内装にもこだわりを見せてくれました。最終的には食品衛生法の規制等で実現しなかった企画もありましたが、その工夫とクラスで協力した過程に意味があるのではないかと思います。

グラウンド・ステージは、恒例のダンス部、吹奏楽部、書道部のパフォーマンスに加え、有志の参加が10組を超え、文化祭をより盛り上げてくれたように思います。昨年よりも多くの生徒が文化祭に意欲的に取り組んでくれたことは大きな収穫でした。

それ以外では、美術部・書道部・写真部・パソコン部・理科同好会の展示、茶道部・PTAの模擬店などのブースがあり、生徒も来場者の皆様も楽しい一日を過ごしていただけたのではないかと思います。

最後に、今年度の募金活動では13,475円集まり、赤十字の活動資金として日本赤十字社大阪支部を通じて寄付されました。多くのみなさまにご協力いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

また、今年度の文化祭が何とか無事に終わることができたのは、来場者・PTAの方々など、多くの関係者各位のご協力あつてのことだと思います。この場を借りてあらためて御礼申し上げます。



## 令和元年度PTA役員

会 長	南 條 忠
副 会 長	秋 吉 弥生
副 会 長	青木 実香子
書 記	石 走 美紀
書 記	杉澤 多美子
会 計	岡田 美和
会 計	三宅 晴美
監 事	和 田 綾子
監 事	基 玲子
三学年代表	南 咲子
二学年代表	山 本 花奈
一学年代表	辻 部 祐子
総 務	河 本 知子

先日6月1日、清明学院文化祭が盛大に実施され、盛況のもと無事終了いたしました。

今年度もPTA活動の一環と致しまして、模擬店「カフェP」を出店し、事前のお菓子作りから当日の販売・営業まで、多数の学級委員・保護者の皆様のご協力のもと、お菓子の販売数を増やしたにもかかわらず、無事完売することができました。



さて、生徒の皆様は、体育祭も終了し夏休みに入っていきますが、夏の間どう過ごすかで今後の高校生活にも大きく影響するので、この休みを有意義に過ごし清明力を十分に養ってください。

PTAといたしましても、清明学院の生徒の皆様がよりよい高校生活を送れるよう、今後とも様々な活動を通じサポートをしていきたいと考えております。

また、これからのPTA活動としまして、来たる10月26日(土)に神戸・兵庫方面に社会見学を企画しておりますので、多数の参加を賜り、皆様方の交流の場となれば幸いです。

また、PTA活動として毎週木曜日(午後7時~9時)、学校内体育館にてママさんバレーを実施しています。初心者歓迎ですのでお気軽にのぞいてください。

この一年様々な機会を通じ、皆様のご意見を伺いながら役員一同活動していきますので、変わりのないご理解・ご協力、更には各種学校行事への参加をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

令和元年度 PTA会長 南條 忠



## 4月1日 入学式 今年度は新入生321名を迎えました



## 4月3日~5日 新入生オリエンテーション(淡路島)



# 学年部長通信

## 1年学年部長

### 『自己表現』

岸元卓治



清明学院に入学してあっという間に1学期を終えた今、何を感じますか。周りに惑わされずに充実して必死に頑張ってきた人。慣れもあり、気が緩んでしまったと感じている人もいます。これからの色々な感情が芽生えると思いますが、自分を見失わずに進み続けてほしいと思います。

高校生活は、中学と同様3年間という短い期間しかありません。まだ先だろうと思っているかもしれませんが、これからの進路選択に向けて今から少しずつ歩み出していかなければなりません。その第1段階とし

て、目標の一つ立ててみてください。そしてその目標が達成できるよう努力してほしいと思います。来年3月に、目標に向かって努力した道程を省みて欲しいと思います。

達成できた者は、今まで以上の自信を得ることができます。重ねて、一回りも二回りも成長した自分に気付くことができます。逆に、達成できなかった人も、無駄ではなかったことに気付くはず。努力した道程は、何事にも代え難い、かけがえのない経験として身に付いているからです。

今は「嫌いだ」と思っていることでも、敬遠せず積極的に取り組んでほしいと思います。なぜなら、将来好きになる可能性があるからです。苦手意識を捨てて、何事にもチャレンジしてください。あなた達の可能性は無限大だからです。

今は、思考力・行動力といった、人生を生き抜いていくための土台を創るために、様々なことに積極的に取り組み、多くを学び、経験してほしいと願います。

## 2年学年部長

### 『社会を生き抜く力』

宮野雅之



早いものであっという間に1年が過ぎ、もう2年生になってしまいましたが、学年が上がるごとに、高校生活で生徒たちを送り出すまでに、どのような「力」をつけておかなければならないか、と考えることがあります。

差し当たり、どこかに進学するにしても、最終的には、親や教師の庇護から離れ、社会に出て自分で生きていかなければなりません。その社会も、グローバル化にともない国際競争が激化していますし、終身雇用の崩壊や就業年数の長期化も常に話題に上ります。ですから今のうちから、進学先においてや、ひいては社会に出た際に、困らないような「力」をつけてやれば、という思いがあります。

そんなことを考えて、新聞やネットに目を通していると、最近、「〇〇が求める人材」といった内容の話が多いなという気がしました。現在の社会・経済の状況を鑑みると、こういう記事やアンケート結果が目を引くのも当然かもしれません。

しかし調べてみると、実は既に2006年から経済産業省が「社会人基礎力」なるものを提唱していました。これは、基礎学力や専門知識に加え、それらをうまく活用していくための「力」だと定義されています。「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力から成

り、それらをさらに12の能力要素(主体性、創造力や発信力など)に分割してあります。

そして、この「社会人基礎力」が昨年には「人生100年時代の社会人基礎力」として新たに3つの視点(「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「どう活躍するか)が加えられました。これらの視点が追加されたことにより、今まで以上に「学び」の重要性が認識され、長寿化する社会での「教育」と社会や企業との関わりが強調されているように思われます。

「社会人基礎力」について読んでいて思ったのですが、結局、「〇〇が求める人材」を持つ、として挙げられている能力は、どういう記事を見ても、この「社会人基礎力」として変わることはなく、簡単に言えば、「現在の課題から新しいことを自分で考え出し、周りを巻き込みつつ、きっちり最後までやり通す」能力だと思えます。

ただし、こういった能力も、前述したように、基礎学力や専門知識がないと意味を成しません。特に高校では、基礎学力の養成が主になってくるでしょう。

筆記試験のない推薦・AO入試が学生の学力低下の一因だと批判され、そういった入試制度を縮小や廃止する大学もでてきました。また、就職試験の際、入試方法を尋ねたり、内部進学者を敬遠したりする企業も多いと聞きます。これは、推薦・AOで入学した者は厳しい競争を経験しておらず、勉強していないとみられるからだそうです。

このようなことを目にする、高校生活では、学力と「社会人基礎力」的な能力をつけさせなければ、という気がします。容易なことではありませんが、この目的に向け少しずつでも前進していきたいと思えます。

## 3年学年部長

### 『負けるもんか』

片山 万



これから進路選択をする3年生に、こんな言葉がありました。

『がんばってれば、いつか報われる。持ち続ければ、夢はかなう。そんなのは幻想だ。たいてい、努力は報われない。たいてい、正義は勝てやしない。たいてい夢は叶わない。そんなこと、現実の世の中でよくあることだ。けれど、それがどうした? スタートはそこからだ。技術開発は失敗が99%。新しいことをやれば、必ずしくじる。腹が立つ。だから、寝る時間、食う時間を惜しんで、何度でもやる。さあ、昨日までの自分を超え

ろ。昨日までのHONDAを超えろ。負けるもんか。』

これは、本田技研の創設者 本田総一郎さんのお言葉です。テレビCMにもなりました。このCMを見たとき、何か胸を撃たれた気がして、すぐにどういう意味か調べました。

この文には、どんな意味が込められているのでしょうか。3年生の諸君はこれから、受験戦争の真ただ中に突入します。何に勝たなくては行けないのでしょうか。同じ進路先を選択した者? 得意な教科? もしくは、希望進路先の傾向? それらも大事かもしれませんが、でも一番大切なことは、自分に勝つこと、「自己に打ち勝つ不屈の精神」こそが本質だと、本田総一郎さんはいつも言われていたそうです。

これから先、うまくいかないことが多くあると思います。成功者のほとんどが大きな失敗を経験していますが、その失敗を乗り越えたものが、成功者へとなっています。自分との戦いは、始まったばかりです。本当の苦難を乗り越えて、勝利できるよう期待しています。

# 1学期の学校風景

## 進路だより

進路指導部長 谷岡 展行

### 4月20日(土) 2年進路LHR

第2学年では、4月20日(土)1時間目に「お金と将来の進路」をテーマに、進路LHRを実施しました。大人になったとき、1日1日を生活していくのにいくらぐらいのお金が必要なのか、就職して得られる賃金はいくらぐらいなのか、それを踏まえた上で自分はどのような進路を選んでいくのか、についてみんなで考えました。

### 5月18日(土) 3年進路説明会

5月18日(土)、第3学年の生徒と保護者様を対象に、進路説明会を2部制で実施しました。第1部は進路ガイダンスです。入試制度や進路選択の重要性、進学にかかる費用について、本校教員よりくわしく説明しました。第2部は「大学進学」「看護医療」「専門学校」「就職」の各分野に分かれて進路講演でした。今回の進路説明会によって3年生の進路意識は今まで以上に高まったことと思われます。さあ、この夏が勝負です。みなさんの頑張りを期待しています。



進路説明会



進路説明会

## 5月10日(金) 前期学級役員任命式



## 5月20日(金)~ 教育実習

### 太成学院大学人間学部健康スポーツ学科 重命 蓮

今回の教育実習で、教員という仕事の大変さ、体育という教科を教える面白さを感じることができました。清明学院の基礎体育を見ていると、この高校の生徒だった私が、必死に声を出して集団行動のテストに合格しようと頑張っていた当時に思い出しました。

私は母校に教育実習生として戻ってくるのができ、教師になる夢に近づくことができました。みなさんは、何か目標を持って過ごしていますか? 時間を無駄にしない毎日を送ってください。何かに挑戦する前から「無理」や「できない」などのネガティブな発言をしませんか? 私はいつもポジティブに考え、ポジティブな発言をすることを意識しています。そして、いろいろなことに興味を持ってください。何事にも挑戦することが大事だと思います。

私の今後の目標は、集団行動のテストに合格したあの頃と同じように、教員採用試験に合格することです。私もまだまだいろいろなことに挑戦し、頑張っていきます。みなさんも頑張ってください! またどこかでお会いしましょう。

### 阪南大学経営情報学部経営情報学科 釜野 祐人

今回の教育実習を通じて、教師としてのあり方や生徒に対する想いの大切さを学びました。母校である清明学院で、少しの期間ですが教壇に立てたことを、誇りに思っています。

実習生として心がけたのは、生徒一人ひとりの興味・関心に応じた声かけをすることです。それによって生徒との距離が近くなったように感じます。今後、教師になることを目指すにあたり、先生方からいただいたアドバイスを課題とし、自己成長していきます。

在校生のみなさんへ。今後、進学や就職で人生の岐路に立つことになるでしょう。その中でも、何事にも恐れずに挑戦し続けていく気持ちを忘れず、前へ前へと突き進んでいってください。お互いに頑張っていきたいと思います。

